

園児のケガ・病気

事前準備	病院の選定は事前に！	119番との連携確認	ルールは事前に確認
Preparation	園児がケガや病気になった場合、「〇〇病院に連れていきます。他の病院を指定される方はお申し出下さい。」と年度初めに確認して、緊急連絡先や生年月日等まとめてあるファイルに病院の指定の有無、病院名を記入する欄を作っておきましょう。搬送前に、身長体重も確認しましょう。 *毎月の検診のデータとのリンク	救命訓練を事前に受けておくことは大切ですが、その際に119番通報の練習もしておきましょう。何を聞かれて、どのように応えれば良いかを事前に把握しておけば、いざというときに、パニックにならずに済みます。	園児が目の前でケガや病気を発症したときには、慌ててしまいます。そのときに、園内連携が乱れないように園内で事前に大まかなルールを作っておきましょう。 例) 病院に連れて行く人は… 保護者に連絡する人は… 対応の記録をとる人は…

応急処置	クスリではなく水道水で！	救命処置は119に確認！	首から上のケガは問答無用！
Emergency	投薬・塗薬は医療行為にあたります。まずは水道水で十分に洗い流して、清潔なガーゼ等で止血します。熱傷は衣服を脱がさず、上から水をかけて冷やします。	救命処置が必要と判断した場合は必ず119番通報を先に行い、救急隊の指示にしたがい心肺蘇生等の処置を行ってください。その際に、処置を行った時刻や処置の内容、園児の反応等を記録に残します。	園児が首から上の部位をケガしたときには、迷わず病院を受診しましょう。目や歯のケガは、後遺障害が残る可能性もあります。腹部の打撲も臓器が損傷している可能性があります。職員が見ていなかった場合は受傷した部位も程度もわからないので必ず受診すべきです。

事後対応	保護者への謝罪は早めに！	説明はていねいに！	記録は正確に！
Strategy	園や保育士側にも、言い訳したくなるようなケガもあると思います。しかし、ケガ後の保護者とのファーストコンタクトは、まずは謝罪に徹しましょう。	ケガをした経緯を文章にまとめたものや、現場の位置関係を書いた図などを使用すると相手にもわかりやすく伝わります。これも園側の誠意を伝えるノウハウのひとつです。	事故時の記録は正確にとりましょう。できれば園で専用の様式の用紙を用意しておくといいでしょう。記録のポイントは、主語を書く。感想を書かない。事実だけを正確に書く。「誰が・いつ・どうした」だけの3点です。

園児のケガや病気は医者診断を受ける事を原則とする！

園内への導入ポイント

- 園児の体の特性（アレルギー、持病、体質など）と保護者のニーズ（連れて行って欲しい病院）は事前に把握する。
- 園の方針は事前に保護者へ説明する。
 - 病院に連れて行くケガの程度
 - お迎えにきてもらう基準
 - 救急車を呼ぶ基準 etc.
- ケガへの対応は事前に練習しておく。
 - 119番通報
 - 心肺蘇生法やAEDの使い方
 - ダブルチェックの方法(複数職員で子どもの対応にあたること)
 - 園外保育時などの連携方法 etc.
- 事故時の対応は園内統一基準
 - 記録は個人差が出ないように記録用紙を作成
 - 記録用紙への記入は事前に練習しておく
 - 保護者への説明方法、苦情の受付や処理方法なども園内で決めておく。

*大切なポイント！！

「大丈夫？」と聞いてはダメ！

「どうしたの？」「どこが痛いの？」と優しく聞いてあげる。

ケガをしたことや禁止されていた行動などを叱られると思って、「大丈夫」と痛みなどを言えないことが多い。

園児のケガ・病気

Riskmanagement Manual

事故報告について、死亡や意識不明の事故、治療期間が 30 日以上の負傷や疾病を伴うと思われるような重篤な事故等については、事故発生時点で第一報を京都市幼保総合支援室へ報告しなければなりません。

また、それ以外でも医療機関を受診し、その後治療を要すると医師に診断された事案については、事故発生日の翌日から起算して 7 日以内に京都市幼保総合支援室(FAX 251-2950)へ報告してください。

提出用 事故報告書

園児氏名

提出対象：医療機関を受診し、医師により当該受診を含めて2回以上の通院が必要と判断された事例
 提出期限：事故発生日の翌日から起算して7日以内
 提出先 FAX:075-251-2950 MAIL: yohoshien2@city.kyoto.lg.jp

※ FAX で幼保総合支援室に提出する場合は、園児氏名が隠れるように下の線で後ろに折り曲げたうえで複写したものを送付、メールで提出する場合は、園児氏名を削除して送付してください（原本は施設・事業所にて保管）。

事故報告書

記載日： 年 月 日 施設・事業所名： _____ 記入者： _____

事故発生日時 (午前・午後)	年 月 日 曜日 時 分 ごろ	対象児について ()歳児 年 月 日生まれ (男・女)
事故発生場所 <input type="checkbox"/> 室内 1 玄関 2 階段 3 保育室内 4 ホール・遊戯室 5 その他 () <input type="checkbox"/> 室外 6 テラス 7 園庭 () 8 屋上 9 その他 () <input type="checkbox"/> 施設外・その他 ()		
事故の種類 1 転倒 2 転落 3 衝突 4 ひっかき 5 かみつき 6 はさむ 7 火傷 8 誤飲 9 誤嚥 10 誤食 11 窒息 12 おぼれる 13 交通事故 14 刺される(毒虫など) 15 その他 ()		
保育活動 1 自由遊び 2 設定保育 3 散歩 4 給食 5 おやつ 6 移動時 7 園外保育 8 その他 ()		
事故状況 そのとき一緒にいた人 1 保育士 (名) 2 子ども (名) 3 保護者 (名) 4 その他 () 5 なし 発 生 状 況 (何をして、どうなったのか、一緒にいた人はその時どうして、どう対応したか等、不明の場合は分からない理由を記載)		
保護者への連絡 いつ (時 分頃) 誰が () 誰に () どのように 1 電話 2 お迎えの時 3 その他 () 保護者の反応 ()		
ケガの状況 部位 1 頭・顔 () 2 胴体 () 3 上肢 () 4 下肢 () 5 その他 () ※括弧内は眼、歯、肘、膝など具体的に記載 種類 1 骨折 2 脱臼 3 捻挫 4 ひっかき傷 5 かみ傷 6 切傷 7 擦り傷 8 打撲 9 異物の混入 10 熱傷 11 誤飲・中毒 12 その他の傷病 ()		
受診した病院 () 搬送手段 1 救急車 2 園所有の車・バス 3 保護者の車や自転車 4 その他 () 同伴者 1 職員 () 2 保護者 () 3 その他 () 治療状況 1 処置施行(即日完了) 2 要通院(ケガ当日+()日) 3 要入院 (/) ~ (/) 4 その他 ()		
反省点	再発防止策	

施設長確認 氏名： _____

保管用

※ 本用紙は幼保総合支援室に提出する必要はありません。施設・事業所において記録し、保管してください。

事故後の経過記録

施設・事業所名： _____		園児氏名		
日時		内容		記入者
年 月 日 ()	時 分			
年 月 日 ()	時 分			
年 月 日 ()	時 分			
年 月 日 ()	時 分			
年 月 日 ()	時 分			
年 月 日 ()	時 分			
年 月 日 ()	時 分			
年 月 日 ()	時 分			
年 月 日 ()	時 分			
年 月 日 ()	時 分			
年 月 日 ()	時 分			
年 月 日 ()	時 分			
年 月 日 ()	時 分			
年 月 日 ()	時 分			

提出用 事故報告書

園児氏名 中京 都子

提出対象：医療機関を受診し、医師により当該受診を含めて2回以上の通院が必要と判断された事例

提出期限：事故発生日の翌日から起算して7日以内

提出先 FAX:075-251-2950 MAIL: yohoshien2@city.kyoto.lg.jp

※ FAXで幼保総合支援室に提出する場合は、園児氏名が隠れるように下の線で後ろに折り曲げたくえで複写したものを送付、メールで提出する場合は、園児氏名を削除して送付してください（原本は施設・事業所にて保管）。

記入例

事故報告書

記載日： 2018年 8月 20日 施設・事業所名： 連盟保育園 記入者：保田育子

事故発生日時	2018年 8月 20日 月曜日 (午前・午後) 9時 50分ごろ	対象児について	(3)歳児 2015年 5月 10日生まれ (男・女)
事故発生場所	<input checked="" type="checkbox"/> 室内 1 玄関 2 階段 3 保育室内 4 ホール・遊戯室 5 その他 () <input type="checkbox"/> 室外 6 テラス 7 園庭 () 8 屋上 9 その他 () <input type="checkbox"/> 施設外・その他 ()		
事故の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 1 転倒 2 転落 3 衝突 4 ひっかき 5 かみつき 6 はさむ 7 火傷 8 誤飲 9 誤嚥 10 誤食 11 窒息 12 おぼれる 13 交通事故 14 刺される (毒虫など) 15 その他 ()		
保育活動	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自由遊び 2 設定保育 3 散歩 4 給食 5 おやつ 6 移動時 7 園外保育 8 その他 ()		
事故状況	そのとき一緒にいた人 1 保育士 (2名) 2 子ども (18名) 3 保護者 (0名) 4 その他 () 5 なし 発 生 状 況 (何を、どうなったのか、一緒にいた人はその時どうして、どう対応したか等、不明の場合は分からない理由を記載) ままごとコーナーで本児含めて6人がおもちゃを使用して遊んでいた。保育士はままごとコーナーから1mほど離れた場所で遊びを見守っていた(もう1人は着替えの介助をしていた)。本児は保育士にみせようとままごとコーナーから出ようとした際に、床に落ちていたフライパンのおもちゃを踏んですべり、棚の角で口を打った。 唇からの出血が見られたため、ガーゼで圧迫止血をする。歯のぐらつきは見られない。受傷直後は驚き、泣いていたが、手当てをするうちに落ち着く。血は5分ほどで止まるが、唇はやや腫れており、歯への影響も考慮し、受診を		
保護者への連絡	いつ (10時 10分頃) 誰が (保育士 保田) 誰に (母) どのように (1 電話) 2 お迎えの時 3 その他 () 保護者の反応 (心配しており、受診に同意。レントゲンが必要なのであれば、撮影してもよいとのこと。)		
ケガの状況	部位 (1 頭・顔 (唇・歯)) 2 胴体 () 3 上肢 () 4 下肢 () 5 その他 () ※括弧内は眼、歯、肘、膝など具体的に記載 種類 1 骨折 2 脱臼 3 捻挫 4 ひっかき傷 5 かみ傷 6 切傷 7 擦り傷 8 打撲 9 異物の混入 10 熱傷 11 誤飲・中毒 12 その他の傷病 ()		
受診した病院	(大文字歯科医院)		
搬送手段	1 救急車 2 園所有の車・バス 3 保護者の車や自転車 4 その他 (徒歩)		
同伴者	1 職員 (保田) 2 保護者 () 3 その他 ()		
治療状況	1 処置施行 (即日完了) 2 要通院 (ケガ当日+ (1) 日) 3 要入院 (/) ~ (/) 4 その他 ()		
反省点	再発防止策		
ソフト面	ハード面 [棚の角にカバーが無く、転倒時の衝撃が大きかった。 ソフト面 [コーナーの床に道具やおもちゃが散乱しており、転倒しやすい状態だった。児の人数も多く、出していたおもちゃの量も多かった。		
ハード面	ハード面 [棚の角にカバーを取り付ける。その他、児がぶつかりやすい他の棚にもカバーを取り付ける。 ソフト面 [コーナーが混み合ってきたら、他のコーナーの遊びに誘導し、過密状態にならないようにする。 ソフト面 [使っていないおもちゃは片付ける。子ども達にも、使わないおもちゃは床に置きっぱなしにしないように伝えていく。		

施設長確認 氏名： 京都 太郎

ポイント！ 反省点、再発防止策はハード面、ソフト面の両方から考えましょう。

保管用

※ 本用紙は幼保総合支援室に提出する必要はありません。施設・事業所において記録し、保管してください。

記入例

事故後の経過記録

施設・事業所名： <u>連盟保育園</u>		園児氏名	中京 都子	
日時		内容		記入者
ハード面 2018年 8月20日(月)		10時45分	<p><受診の状況および歯科医師の説明> レントゲンを撮る。歯の異常は見られない。唇の切り傷は、このままでよい。食事はいつもどおりでよい。 歯の異常は後日判明することがあるため、5日後の8月24日に経過観察の受診をすることになる。</p> <p><保護者報告> 担任から父へ電話をする。 受診の状況を説明する。ひとまず安心される。</p>	保田育子
2018年 8月20日(月)		11時50分	<p><給食の状況> メニュー：ご飯、野菜の味噌汁、鶏肉の照り焼き 唇を気にしており、普段よりゆっくり食べていたが全て食べた。 本児は「あんまり痛くない」と話す。</p>	保田育子
2018年 8月20日(月)		15時00分	<p><おやつ状況> メニュー：クラッカーサンド 配膳分は全て食べる。</p> <p><本児の状況> 腫れは治まった。痛みを訴えることなく、午睡、午後の活動はいつもどおり参加している。</p>	主任 竹屋町子
2018年 8月20日(月)		18時00分	<p><保護者報告> 父がお迎えに来た際、保育室内で事故の状況を説明し、担任と園長が謝罪をする。「環境面の改善(角の保護など)を考えてほしい」と話す。また、本児にも「足元には注意するように」と声かけをしていた。 2回目の受診は母が行うとのこと。</p>	保田育子
2018年 8月24日(金)		18時00分	<p><母から受診状況報告> 園長受電 午後から大文字歯科医院を受診し、視診をしてもらった。歯の異常はなく、唇の状態もよいため、今回の受診で終了。歯が変色や、その他気になることがあれば、また受診するように言われた。 「心配したが、傷も目立たず、歯も大丈夫そうなので安心した」と話す。</p>	主任 竹屋町子
年 月 日()	時 分			
年 月 日()	時 分			
年 月 日()	時 分			
年 月 日()	時 分			
年 月 日()	時 分			